

## はじめに

本報告書は、令和5年度滋賀大学データサイエンス学部社会調査実践演習Ⅰ・Ⅱで行った分析結果をまとめたものである。分析には、長浜市未来創造部未来こども若者局こども若者応援課との共同調査で行った「長浜市中高生調査（こども若者実態調査）」のデータを用いている。

本報告書には、12編の論文が収められている。まず第1章に調査の概要について示した。続く第2章から第13章は学生たちの各論文であり、長浜市の高校生を対象とするデータを分析している。最後に資料として、調査票および補足的な分析結果を付している。

第2章の稲葉論文は、核家族に比べ三世帯家族で暮らす高校生は、親の扶養規範意識が強いほど長浜市へのUターン意識が高いという仮説の検証を行った。仮説は採択され、三世帯家族で暮らす高校生が有する親の扶養規範意識が強いほど、Uターン意識が強いという結果が得られた。

第3章の岡野論文は、長浜市で開催される地元の祭りに対する貢献度合いが、長浜市への居住希望、長浜市への貢献希望、社会への貢献希望という3つの変数と関連するのかを分析した。結果、将来の長浜市への居住希望、長浜市への貢献希望、社会への貢献希望の順で、祭りへの貢献度合いとの関連性が強いことを明らかにした。

第4章の栗田論文は、自然に対する関心や長浜市の歴史伝統への関心を持つ高校生ほど、長浜市への愛着が高いという仮説を検証した。仮説は採択され、自然および伝統への関心を育む教育の重要性を指摘した。

第5章の坂口論文は、高校生が将来余暇を充実できる職業を重視することが、長浜市の居住希望意識と関連するのかを検討した。分析の結果、その関連性は見られず、将来、社会や長浜市への貢献が可能な職業に就くことを重視する意識が、長浜市の居住希望意識と関連することを明らかにした。

第6章の坂本論文は、高校生の進学希望意識と将来都会に住みたいと考える意識の関連性を検討した。分析からは、進学を希望している男性生徒ほど、将来都会に移住を希望する傾向があることを提示した。

第7章の平野論文は、高校生の学力と高校卒業後における県外移動希望の関連性を分析した。分析の結果、国語、数学、英語の嗜好度との関連性は見られず、一方で生徒の学力が有意に関連することを示した。

第8章の文岡論文は、親から大学進学を勧められた経験を持つ者ほど、将来専門職に就くことを志望するという仮説を検証した。多変量解析からは、男子生徒では仮説は不採択となったが、女子生徒では仮説が採択されることが示された。

第9章の宮下論文は、長浜市内において、遊ぶ場所の満足度が高い人、遊ぶ人の数が多い人ほど長浜市の居住希望意識が高いという仮説の検証を行った。最終的にはいずれの仮説も棄却されたが、若者向けの服屋の数、若者向けの飲食店、カフェの数、図書館の使いやすさ、自然の美しさ・風景の満足度の高さが長浜市の居住希望意識と関連することを明らかにした。

第10章の安里論文は、長浜市の地元企業の認知状況と、長浜市居住希望意識の関連性を検討した。分析の結果、地元企業の認知状況は長浜市の居住希望と正の関連を持つことが明らかにしており、地元企業の認知促進や価値観の多様性を尊重するアプローチの重要性を提起した。

第11章の山下論文は、長浜市における地域の生活利便性と地域満足との関連性を分析した。多変量解析から、長浜市の飲食店、服屋、都会へのアクセスの充実度が、長浜市に住むことの満足度と関連していることを示した。

第12章の横江論文は、高校生の夢の有無に着目し、本人の自尊心が高いほど夢を持つという仮説を立てた。多変量解析からは、仮説は採択され、たんに夢を持つことの重要性を提唱するのではなく、高校生の自尊心向上のアプローチの重要性を指摘した。

第13章の林論文は、高校生が経験する様々な活動に注目し、学校の宿題、学校以外の勉強、運動系の部活動、文化系の部活動、習い事、ボランティア活動という活動を高校生がどのように行っているのかを類型化し、その類型と本人の夢の有無の関連性を検討した。潜在クラス分析とロジスティック回帰分析の結果、勉強と運動系の部活の両方に積極的に取り組む生徒ほど、夢を持つ傾向が明らかになった。

以上の報告のなかには、分析方法や結論について、さらなるブラッシュアップが必要なものも含まれているため、実際の政策に応用するにはさらに検討が必要であることには注意されたい。この報告書をもって、受講生は質問票の検討、実査、データクリーニング、データの分析、そして報告書の作成までのすべての行程を一通り経験し、社会調査の基礎的なトレーニングを受けたことになる。今後、さらなる社会調査の経験を積み、社会調査士としてその能力を社会に還元してもらいたいと願っている。

データサイエンス教育研究センター 助教 堀兼大朗  
データサイエンス学部 准教授 伊達平和